市内団体訪問記

オジャマシマス

「できる事」で生きていける社会に！
一般社団法人ラフレックスの活動

小田急相模原＝通称オダサガの駅近くの『一般社団法人ラフレックス』を訪ねたのは、市民桜まつりの余韻も冷めない4月11日(金)。事務所には寄付された品物が山積みされ、階下のリサイクルショップ『ザ☆コネクタース』に出品されるための検品や値付けを待っている。その傍らの机でパソコンを操作していた代表理事の神﨑寛明(かんざきひろあき)氏に、さっそく企業理念と事業の概要を伺った。

【神﨑代表理事へのインタビュー抜粋】

もともと精神障害や発達障害のある人をフォローする仕事をしており、そこで、成人であれば当たり前なことである働くことや一人暮らしをすることに対して、「僕は働いても良いのでしょうか?」「一人暮らしをしても良いでしょうか?」と確認されることにショックを受けた。そんな当たり前のことが自由にできないことがおかしいと感じ、この状況を何とか打開できないかと思い、法人を立ち上げた。

まずはグループホーム『サンスイ』を開所して生活の場を保障し、次いで日中活動の場として、就労支援事業所『ラフレックス・オダサガ』を立ち上げ、日中の居場所を提供しながら、就労に向けた支援を行っている。

とても優しく対応してくださった神﨑代表理事

現在はその他に、重症心身障害児の放課後デイサービスを中心にさまざまな障害福祉サービス事業を展開している。

グループホームは、そこにずっと住み続ける永住型ではなく、卒業して一人暮らしを目標とする通過型としているとのこと。ただし、期間は設けずにその人に合わせて卒業を目指していき、卒業後も定着支援としてフォローをしている

支援は大きく分けて日常生活支援と社会生活支援で、利用者の希望や障害の状態に応じて支援を検討している。具体的には、金銭管理・食事・部屋の状況・通院服薬など。また社会生活では各種手続きをはじめ家族・近隣など周囲との環境を整える仲立ちや同行支援などを行うこともある。行政と民間福祉事業のはざまで途方に暮れている利用者さんの姿を見ていると、つい、業務外の相談に乗ったり同行するようなこともあり、「福祉のすき間」に直面することも少なくない。

＊　＊　＊　＊　＊

今後の展開や目標などを伺うと、「金・人・場所があれば、やりたいことはたくさんあります。でも職員を募集しても、応募してくる人がいないのが目下の悩みで、理念に共感してくれる人をぜひ紹介してください」とのこと。ボランティア協会の会員で、お知り合いの方など心当たりのある会員さんには、ご一考をお願いしたいと思った。

実際の作業風景を見学させていただいた。寄付された品物の検品・値付けの実際や、PC事務作業ではパソコン操作に余念のない様子、少し離れたレストラン『Dining Bar GIFT』ではオムライスの美味しそうな写真に、次はプライベートで来ようとひそかに思ったりした後、最後に事務所階下のリサイクルショップに案内していただいた。店内は衣類を中心に、春をテーマにしたような明るい配色のディスプレイが気分を華やかにしてくれた。和服の生地で作られているかわいい小物入れや、帯地で作られたバッグなどもあり、なんとこれらの商品は利用者が作成したとのこと。手芸愛好家には垂涎の材料が倉庫でうなっているそうだ。

「和服は正絹の羽二重や縮子・ちりめんなども多く、色焼けなど着物として着られなくても手芸材料として重宝されます。端切れの在庫が多いので、仕入れてくれる先があれば着物や帯も喜びます」と、これは筆者の感想。

多岐にわたる事業を丁寧に説明してくださった神﨑代表理事に記事に掲載する写真をお願いしたら、気持ちよく応じてくださった。マスクを外した神﨑さんは、溌剌とした好青年という印象だ！　（恒藤・小川み）

倉庫には季節ごとなどに仕分けされた衣類が！！

店内には春らしい衣類や手作りの手芸品が！

＊一般社団法人　ラフレックス
代表理事　神﨑寛明
〒252-0313
相模原市南区松が枝町 15-15
TEL：042-767-3307
FAX：042-767-3308
MAIL　：office@laflex.org

『Dining Bar GIFT』